日本スカッシュ協会中長期マネジメントビジョン計画

本協会のビジョン
「To The Next Generation ～新しい時代の幕開け～」

目的：これまでの半世紀の活動に満足することなく、次の 50 年へ。
そして本協会の意思を次世代へ引き継ぎ、継承・存続をしていく協会運営を行って参ります。

本協会のミッション
「B.R.I.D.G.E.～過去・現在・未来･･･次世代への架け橋」
Brightness（組織の見える化）
Renovation（新たな付加価値の創造）
Information（先進型情報配信技術の確立）
Discovery（次世代選手の発掘と新規会場の開拓）
Globalization（世界の一員としての組織と運営）
Education（選手教育及び教育機関との連携強化）
本協会は協会運営を次世代へ引き継ぐ架け橋的存在として、上記 5 項目を最重要指針事項と位置付け、また各項目の頭文字を「Bridge(架け橋)」と掛けて競技を愛する全ての皆様に応援し支えて頂ける団体として運営して参ります。

Brightness：
「組織の見える化、透明性」
本協会は「理事会」「常務理事会」と「専門委員会」から構成されています。特に今回のミッションでは「専門委員会」をより細分化し業務運営の効率化を図ります。さらに会議決定された内容や経営管理関連情報等を公開し、組織の見える化、運営の公正・公平性をお示しします。また協会支援者の声を真摯に受け入れ、常に改善、発展的な運営を行うと共に協会の倫理性・信頼性の向上を目指します。

Renovation：
「新たな付加価値の創造」
本協会は 50 年の歴史と伝統を尊重すると同時に、新しい社会潮流に合わせて様々な取り組みに挑戦して参ります。より多くの方々に「スカッシュ」という競技の魅力をスタイリッシュに伝え、多くの方に認知・普及させ、末永く愛し、支援して頂けるような大会、イベントを企画・開催していきます。

協賛、支援を頂けるよう、革新的な運営を常に計画、実行、評価、改善を繰り返し、より魅力ある、より信頼される協会を目指します。

Information：
「先進型情報配信技術の確立」
本協会はスカッシュ競技を「見るスポーツ」「魅せるスポーツ」として確立させていきます。ホームページや SNS 等の既存の情報配信ツールも見直し、より迅速で正確な競技情報が配信できるシステムを構築します。併せて競技を魅力あるコンテンツとして取り上げて頂けるよう、各種メディアの活用と情報提供を積極的に行って参ります。また競技だけでなく、選手、愛好者に関する魅力あるコンテンツの作成や臨場感溢れる試合中継技術の向上も目指します。

Discovery：
「次世代の選手発掘、競技会場の開拓」
本協会は国内にとどまらず、世界で活躍できる選手の育成に力を入れると共に、次世代の有望な選手の発掘、育成、支援していきます。また日本国内におけるスカッシュ競技場は民間総合運動施設（スポーツクラブ）内の付帯施設として運営されているのが主流です。本協会はこれらの運営施設を支えると共に、新たな競技施設の建設を検討されている団体に対し可能な限りサポートができる体制を目指します。

Globalization：
「世界の一員としての協会」
本協会は世界スカッシュ連盟（WSF)、アジアスカッシュ連盟（ASF)、日本オリンピック委員会（JOC）の加盟団体です。世界の一員であるという自覚を持ち、日本におけるスカッシュ競技に携わる全ての方々と世界を繋ぐ架け橋的存在としての運営を目指します。

Education：
「選手育成と委員のスキル向上」
本協会は次世代へ繋ぐ架け橋として競技に関わる全ての若者を支援していきます。また仕事と競技の両立を目的としたデュアルキャリア支援、国際社会の中の日本人としての人間力向上を目的とした教育活動も行って参ります。そして各関連機関、学校等の教育機関との連携を強化して参ります。さらに協会役員の情報リテラシーをはじめ、競技運営の更なるスキル向上を目指す研修会を適宜開催し、世界基準に則した協会運営を目指します。